



広報

あくな

阿久根市の人口
住民基本台帳人口と世帯数
(4月1日現在)

人口	29,457 (-241)
男	13,762 (-122)
女	15,695 (-119)
世帯数	9,805 (-35)



ぼくたち

いちねんせい

たいすけのる てっし

つる だいたすけ 鶴田大輔君、やま せみのる 梁瀬実君、

せと やまてつし 瀬戸山哲志君の三人は、田代小学校のピッカピッカの新一年生だ。4月6日の入学式では21人のおにいさん、おねえさんから「かわいいね、いっしょにべんきょうしよう」と、大歓迎を受けて、3人ともうれしそう。……………

体よりも大きそうな真新しいランドセルを背負って、新しい学校生活が始まった。

子どもたちの顔は初初しい。そして希望の光が見えるようだ。

がんばれ一年生。

(見出しは子どもたちが書いた字です)

60年

4月号

人口増と福祉の向上に努力

川畑市長施政方針を發表



施政方針を發表する川畑市長

諸計画に基づき 積極的な市政運営を

川畑市長は、三月六日開会された第一回定例市議会にあたって施政方針を演説し、国の財政再建、行政改革など厳しい状況の中で、「公正で均衡のとれた市政を執行する」施政の理念に立って「陸と海の調和のとれた活力ある阿久根」をつくるため、限られた財源を効率的に配分し、行政水準の低下をまわかないよう、人口増対策、市民の所得、さらには福祉の向上の確保に努力することを述べました。

昭和六十年第一回定例市議会が
開会されるに当たり、市政に対する所信を申し述べ、議会並びに市民の皆様のご理解をいただき、市政推進に一層のご協力を賜りたいと在じます。

健全な市政運営

には一応の成果

進展等を背景として、景気は引き続きゆるやかに拡大することが期待されるとし、国内的には我が国財政は依然として大巾な不均衡の状態にあるが、物価の安定を基礎としつつ、民間需要を中心とした景気の着実な拡大を図り、持続的な安定成長を目標としながら、一方行政改革を引き続き推進し、更に我が国の中長期的な経済発展の基礎を整備していく必要があるという認識に立っております。

政府は、以上の基本認識をふまえたが、昭和六十年予算編成に当たって、引き続き行政の改革を強力に推進し、その対応力を回復することが重要な政策課題であり、経費の徹底した節減合理化を更に行うことを基本として、財政規模を厳しく抑制しつつ、限られた財源の中で質的な充実に配慮することとし、社会・経済情勢の変化に十分対応できる予算の編成を行ったとしております。このことは、地方公共団体にも高率国庫補助金の一律削減、行政改革の徹底による一般行政経費の抑制等、国の財政体質の悪化による地方財政への波及が懸念され、厳しい対応に迫られていると理解いたしますのであります。

誕生 おめでとう



- | | | |
|-------|-----|-------|
| 出生児 | 保護者 | 区名 |
| 磯畑 盛喜 | 盛考 | (大尾) |
| 中野 哲也 | 康知 | (寺山) |
| 松崎万里子 | 清香 | (大丸) |
| 濱崎 宏一 | 公二郎 | (浜) |
| 中村美菜子 | 研二 | (藤馬場) |
| 小野 健治 | 勝博 | (大尾) |
| 松元 義雄 | 次男 | (山馬場) |
| 柏木 真悟 | 広志 | (浦) |
| 黒崎 安昭 | 友義 | (中村) |
| 大田重演香 | 修 | (尻無下) |
| 屈福 修寛 | 悦郎 | (新町) |
| 児玉 江利 | 利信 | (上桑原) |
| 西園 隼人 | 誠 | (高之口) |
| 橋之浦智仁 | 良文 | (橋之西) |
| 野村 和広 | 光重 | (黒之浜) |
| 福浦 太貴 | 徹 | (橋之西) |
| 南 摩子 | 徹 | (古里) |
| 牛之濱美穂 | 民義 | (山馬場) |
| 吉松 謙 | 信男 | (高松) |
| 堤内 有美 | 孝志 | (湯) |
| 大原 清花 | 幹男 | (佐湯) |

市長室からは
休みました

本年は、昭和六十年、戦後四十年という大きな節目の重要な年に当たりますが、私にとりましては第二期目の半ば、二年を終過し、後半仕上げの段階に入ったと考えております。

この意義ある年にあたり、私は、施政の理念として掲げております「公正で均衡のとれた市政を執行する」ことを初心にかえり反省し、市勢浮揚発展の基本目標である「陸と海の調和のとれた活力ある阿久根」の創造に向つて、日々に新たな決意のもとに渾心の力を傾注して参る所存でございます。

幸い過ぐる六年の間、議会を始め、市民皆様の積極的なご理解、ご支持を戴き、健全な市政の運営と一応の成果を挙げ得たものと思つた次第でございます。

「陸と海の調和のとれた活力ある阿久根」づくりへ

昭和六十年代の地方行政財政の方向は、変貌する内外の社会・経済情勢のもとで、活力ある個性豊かな地域社会の実現をめざしてあり、また構造的に財政の健全化を図ることが急務となつております。一方行政改革は、国の方針として今後各自治体毎に「行政改革大綱」を策定し、現行制度の抜点検を行う問題点と改善の方向を検討するよう求められております。私は、

い問題点と改善の方向を検討するよう求められております。私は、い問題点と改善の方向を検討するよう求められております。私は、い問題点と改善の方向を検討するよう求められております。私は、

い問題点と改善の方向を検討するよう求められております。私は、い問題点と改善の方向を検討するよう求められております。私は、い問題点と改善の方向を検討するよう求められております。私は、

政推進の二本の柱としております人口の増加対策、市民所得の向上対策に全精力を傾注して参る所存でございます。

以上のような認識を前提として、昭和六十年度の予算編成に当つては、阿久根市が行政運営の指針としております「新阿久根市移合間発計画」を始めとする諸計画にの

経費の節減合理化に努め

節度のある財政運営を基本に

つとり、これら計画に盛り込まれた産業の振興、企業誘致、教育文化の向上、道路交通網の整備、市民福祉の充実や生活環境の整備など積極的に推進して参りたいと思つた次第でございます。

このため、従来にもまして事務事業の見直し、行政の簡素効率化と経費の節減合理化に努め、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に徹し、節度ある財政運営を行うことを基本としながら、一方従来の行政水準の低下を来さないよう十分配慮し、住民福祉の確保に努力することを基本的な方針といたしました。

それでは、昭和六十年年度予算に盛りこまれた主な施策について、その概要を申しあげます。先ず、産業の振興から申しあげます。

「こめいふくを お祈りします」		死者 年齢
西園	スカ	78 (高之口) 宗一
大田	廣美	53 (牛之浜) みゆき
永田	栄吉	90 (尻無下) 時生
林田	サチ子	65 (仲仁田) 昌雄二郎
川畑	ツテ	70 (的場) アサノ
高水	太次郎	78 (山馬場) 吉三
下園	キヨノ	76 (的場) 傑一
久木田	クミ	82 (遠矢) 安男
川原	津奈	81 (本町) 勤
牛ノ濱	仙太	91 (牛之浜) 肇
新留	シヅ子	62 (永田上) 休蔵
本	アキノ	80 (田代中) 重夫
山口	シヅコ	70 (府) 和男
濱田	友也	59 (上野) トミ子
勝目	隆晴	78 (新町) 梅田子
長谷	サツ	86 (新町) 結三
餅越	タメ	82 (大丸) 昭男
牛之濱	キミノ	85 (牛之浜) 与七郎
的場	秀記	75 (川畑中) 川畑キヨ
松崎	千代子	70 (上野) 三成
新柳	貞吉	78 (飛松) 弘喜
早水	ツル	107 (黒之浜) 一二三
尻無浜	小助	86 (尻無中) 末弘
花本	勝広	0 (波留) 勝則
赤崎	ミツ	81 (高之口) 岩崎市
櫻八重利	男	86 (簡田) キク
石沢	福幸	55 (大瀬) トミ子
貴島	トシコ	57 (下村) 則
上野	ハツノ	82 (筒田) ハツノ
早水	ファミ	83 (瀬之上) 泰夫

土地基盤の整備や各種事業を 導入し、農家の生産向上を目ざす

農業の振興につきましては、内外の情勢は一層厳しいものがありますが、活力あるむらづくりをめざして、「拠点地区」を中心とした土地基盤の整備等や、農地の流動化促進、水田利用再編対策第三期対策を積極的に推進を図り、なお農産物の流通加工対策についても配慮し、農家の生産性の向上と所得の増大に努力いたしたいと考えています。

また、特産野菜の振興についても連作障害対策や産地拡大事業の充実を図りながら、かんきつ産地再編対策も引き続き実施して参ります。

構造改善は桑原城地区、赤瀬川地区を引き続いて実施して参ります。

農村総合整備モデル事業は、農道の改良舗装や、用排水路の改良を中心に進めて参りたいと思っております。



栽培漁業センターの建設予定地の大川島

栽培漁業センター 建設に着手

て対策を図らなければならぬ厳しい局面にありますが、鹿児島県の食糧供給基地として果たすべき役割りを考えますとき、今後引き続き家畜導入事業を始め畜産の振興を図っていく必要があるかと考えます。

次に水産業につきましては、南九州有数の拠点漁業基地として阿久根漁港を中心に栄え発展して、

つ公益的機能の重要性にかんがみ、林業構造改善事業を引き続き実施するほか、林道、作業道の開設や市有林造成事業を民間委託するなど、積極的に施策を展開したいと考えています。

また四月から山手地区の拠点として鶴川内地区集会所建設を開設し、田代には山村開発センターを設置して、山手地区市民のセンターとして特産品の開発や研修の場として活用を図って参りたいと思っております。

今日では水産加工を含め市の主要産業のひとつでございます。しかしながら「百かイリ体制」の定着による漁場の制約や、漁業資源の枯渇、燃油価格の高水準など阿久根市をとりまく情勢は厳しいものがあります。更に先般大羽イワシの丸干について薬物使用のことが

報道され、誠に遺憾に在じておりますが、今後とも薬物使用を厳に戒め、自然食品としての新製品の開発に努め、信用の回復を図り、販路の拡大を推進していかねばならないと考えております。

今後の水産振興のめざすには、漁船漁具漁法の改良を促進しながら、獲る漁業から作り育てる漁業への展開を図るべく栽培漁業を推進して参ります。

特に昨年度開始が実施した栽培センター建設のための基本調査を基礎として、本年度から施設の一部の建設に着手いたします。

このほか、魚種投入など漁場の造成も引き続き実施いたします。

一方漁業基地としての漁港、港湾の整備拡充は、阿久根漁港修築事業を始め、臨本、牛之浜漁港の改修事業や佐海漁港の局部改良事業も実施いたします。港湾整備としては高之口港の改修事業、小瀬八郷港の局部改良事業をすすめて参りたいと思っております。

商工業設備資金の 保証料の一部を補助

商工業は、経営者自らの自助努力とあいまって、商工会議所、市が一致協力して経営の近代化、合理化、企業活動の活性化を促進して参りますが、本年は金融対策の

江良氏ら四人 選挙管理 委員会委員

任期満了に伴う、阿久根市選挙管理委員会の委員に次の四人が再任されました。任期は六十年三月六日から四年間です。

- 江良英千代氏（77・橋之東）
- 委員長 川畑開氏（73・川畑中）
- 委員 鶴崎正義（71・新町）
- 委員 中村良彦（66・本町）

黎明館の催物案内

- ☆第五十二回独立展
- 会期 四月二十七日～五月六日
- 入場料 一般大学生・六百円、小・中学生・高校生・三百円
- 主催 南日本新聞社
- 〔四月二十日(休館)〕
- ☆ふるさとの心を描く「原田泰治 素材画展」
- 会期 四月二十七日～五月六日
- 入場料 一般大学生・五百円、小・中学生・三百円
- 主催 南日本放送
- 〔四月二十日(休館)〕

一助として、商工業設備資金について保証料の一部を補助することにした。

また観光につきましては、観光協会とタイアップして周年観光をめぐらし、広報宣伝も実施しておりますが、魅力ある観光地づくりの

ための施設整備として昨年引き続き大島公園に観光ルート施設の整備をいたします。

このほか、中央、高松、大丸等の公園も整備したいと考えています。

市道の舗装率を93%に 里道整備にも補助

次に道路文
通など土木事
業関係につい
て申しあげま
す。

道路は、市
勢発展の基盤
になるもので
ありますが、
市民生活に直
結し、産業振
興の動脈とも
いふべきものとして、重点施策
のひとつとして積極的に推進して
参りましたが、依然として市民の
行政に対する要望の中で最も多い
部門であります。昭和六十年代も
引き続き各種事業を導入して改良
整備に努力して参る所存でござい
ます。過疎対策事業、臨時地方道
整備事業、市町村道整備事業、辺
地対策事業等を主財源として新設
改良を推進いたしますが、舗装、
オーバーレイなど維持修繕も積極
的に取り組んで参りたいと思いま
す。

六十年度の実施計画では、舗装
六千二百一十戸改良三千二百二十
戸を予定しており、これが完成
する年度末には総延長三百十六、
このうち改良済百一十四・七、
改良率三九・四%、舗装延長三百
九十七・四、舗装率九三・九%に
なる見込であります。このほか、
里道整備も引き続き実施して、市
民の身近な生活環境の改善を図り
たいと思っております。また交通安全施
設のガードレール、ロードミラー
も整備をいたして参りたいと思
います。

国道389号、国道 3号への接続を促進

国・県道につきましては、従来
から関係機関に促進方をお願いし
ておりますが、国道3号の尻無バ
イパスも既に着工しており、今後
は湯地区の国道改良について区画
整理事業との関連において早期着
工を促進して参りたいと思いま
す。国道3号についても国道3号接続
の一日も早からんことを願ひ促進
について陳情いたします。

公共下水道の基本調査へ

県道につきましては、対空港ア
クセスとして、阿久根市のみなら
ず、北薩摩地域住民のひとしくそ
の早期完成を願望しておりますと
ころの阿久根東郷線は既に東郷側
より着工しておりますが、トンネ
ルについては阿久根側からの着工
を強力に県に働きかけて参りたい
と考えています。このほか、市内各県
道についても改良の促進方を県に
お願いしたいと思っております。都市計
画につきましては、市街地の用途



広々とした湯地区、ここの区画整理事業もいよいよ始まりです

地域の指定が県の承認を得ました
ので、今後秩序ある市街地の環境
整備を図つて参ります。また湯地
区の土地区画整理事業は、本年度
中には計画の一部変更をして地区
民へ事業説明に入る予定でありま
す。このほか、上野都下水道、
丸尾排水路、遠見ヶ岡線街路事業
も引き続き実施いたします。

近年、市民生活の向上、多様化
のもたらす生活排水によつて環境
汚染が出ておりますが、市民生活
の環境保全の観点から公共下水道
の建設の要望が高くなつておりま
すので、本年度はその基本調査に
着手したいと考えています。

住宅行政につきましては、年次
的に市営住宅を建設し、市民の住
宅不足の解消に努めておりますが、
本年度も引き続き建設したいと思
います。

防犯灯の維持 管理にも補助

次に民生関係について申しあげ
ます。

市民の健康の維持増進のための
各種健康相談、健康診査、予防注
射等保健サービスは一層強化して
参りますが、本年は従来のガン検
診に婦人ガン検診を加え、母体保
護のより充実を図つて参ります。

一方六十年代から新たにねたきり老人に對して「おむつ給付」をい

また昨年再開いたしました大川診療所も地区民の医療の確保、健康の保持に喜ばれており、その経営も順調に進展しておりますこと

このほか、住民の生活の確保の面から防犯灯の設置について、従来一部補助する制度も設けており

消防の使命につきましては、今更申すまでもなく市民の生命、財産を保護することであり、その強化については、鋭意努力を傾注して参りましたが、本年度も組織の強化、団員の志気の向上、機械器具の近代化、水利の確保など推進して参りたいと考えます。

特に本年度は全団員に盛夏略衣を支給し、団員の待遇の改善と志気の高揚を図つて参ります。

危険校舎も改修

次は教育について述べたいと思

二十一世紀を担う青少年の教育

は、私たちに課せられた大きな責務であり、喫緊の課題であります。

この如何によつては日本の未来も左右する教育の重要性にかんがみ、私は就任以来健全な教育環境醸成のため最大の努力を払つて参りましたが、本年度の具体的な施策として、学校施設は山下小学校、大川中学校の危険校舎の改築を行います。

電算機導入のための調査設計へ

保健体育の面では、総合運動公園を基本計画にそつて、ソフトボール場、弓道場、テニスコ広場などの施設の建設整備をいたします。

では、昨年小学生に読書推進事業をスタートさせましたが、非常に効果が上つており、本年度はこれを中学生に拡大して、読書を通じて視野の広い情豊かな青少年の育成を図つて参ります。

図書館では、昨年郷土資料館を建設しましたが、本年度は展示室の整備をし、内容の充実を図つて参ります。

次に以上の各部門のほか、事務能率の向上、住民サービスの正確迅速化を図り、情報化社会に対応するため、地方公共団体においてもO/A化は不可避の問題となつて来ております。

また長期的な水資源確保のため、市内全域にわたり、水量、水質、取水の可能性等水資源の調査を行います。併せて松ヶ根、落地区においてはボーリング調査を実施いたします。

次に水道について申しあげます。水道は、市民の日常生活並びに



尾崎小にはプールも完成

産業活動に必要な不可欠なものであり、清浄で豊富な水を安定供給することが水道事業の基本的使命であります。

昭和六十年度の主な事業としては、市街地域の老朽配水管の布設替や高台地区の低水圧地域の解消などを実施する予定であります。

市長、職員一体で施策の実現に努力

以上施政の方針について所信を申し述べましたが、これらの施策の実現につきましては、市長以下全職員が一体となり、地方自治の本旨にのっとり、この厳しい状況の中での市政の推進に当たり、住民の負託に応え、住民のための市政実現に最大の努力をいたす所存でございます。

何とぞ、議会を始め、市民皆様のご理解をいただき、積極的なご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私の施政の方針といたします。

季節の話題

タケノコの季節

四月から五月にかけては、タケノコが旬を迎えます。

孟宗竹が日本に渡ってきた経路については、最もはっきりしているのは、琉球から薩摩へというコース。それが、薩摩藩の江戸屋敷へ持ちこまれ、江戸中に広がっていきました。時は十八世紀終わりごろのことです。

ところで、朝掘りとか朝採りとか言つて、タケノコをさしみ風につくつて生で食べるのはオツなものです。が、こうした食べ方ができるのは、掘りつた後の数時間だけ。時間がたつて従つて、タケノコに含まれるホモゲンシジン酸としゅう酸が増え、独特のえぐみが出ます。

タケノコをゆでる時には、皮つきのまま、米のとぎ汁や米ぬかを溶いた水を使いますが、これはタケノコが空気や水と触れて酸化するのを防ぎ、白くゆであげるのと、タケノコの糖分が流れてるのをおさえるためです。赤とうがらしを丸ごと入れるのは、えぐみを粉らわすための昔ながらの知恵でしょう。

一目に百でも伸びるタケノコをたっぷりと食卓へ。

歌や踊りなどを楽しむ市民



遊歩大会には50人が参加

桜の下で歌や踊り 市民いこいの森まつり

桜の花満開の三月三十日、市民いこいの森で阿久根市森林組合主催の、第一回市民いこいの森春まつりが行われ、市民多数が参加、いこいの森一周の遊歩大会や特設ステージでの歌や踊りなど春の一日を楽しんでいました。

市職員の異動

四月一日付 ○印昇格者()は前職

- ▽会計課長(水産課長) 浜田健一
- ▽税務課長(会計課長) 貴島俊夫
- ▽水産課長(教育委員会社会体育課長) 有田健三▽福祉事務所長兼老人福祉センター所長(議事事務局長) 馬見新純▽議事事務局
- (福祉事務所長) 有田昭▽教育委員会社会体育課長(税務課長) 馬見新純
- ▽保育所長(市民課長補佐) ○餅越孝▽農政課長兼山村開発センター所長兼鶴川内集会施設所長(農政課長) 鶴岡辰男▽市民課長補佐兼任住居係長(農政課長) 黒神公生▽教育委員会社会教育課長補佐兼市民会館係長(教育委員会社会教育課長補佐) 浦原雄▽参事(参事兼保険衛生課子防衛係長) 池脇忠志▽税務課参事補(会計課会計係長) 新崎修平▽会計課会計係長(税務課管理係長) 坂元義治▽税務課管理係長(市民会館係長) 川畑文男▽農政課畜産係長(国民宿舎管理係長兼営業係長) 末吉優▽商工観光課光係長(商工観光課) ○中園和之▽国民宿舎管理係長兼営業係長(税務課) ○浜崎国治▽保険衛生課子防衛係長(保険衛生課) ○池田礼子▽農業委員会農業振興係長(商工観光課係長) 高吉昭
- 一▽税務課参事補(農業委員会農業振興係長) 密柑幸雄▽教育委員会社会体育課社会体育係長(教育委員会社会体育課) ○浜崎孝幸
- ▽総務課(建設課) 大田岳文▽同(財政課) 福崎鈴子▽財政課(保険衛生課) 竹村良治▽同(商工観光課) 浜崎久仁代▽企画課(総務課) 鮫島国芳▽税務課(選挙管理委員会) 眞平和大▽同(福祉事務所) 佐瀬順海▽同(教育委員会) 石沢正志▽水産課(総務課) 田淵広子▽農政課(市民課) 竹原美佐子▽土地改良課(建設課) 上野正順▽同(農政課) 堀切重一▽保険衛生課(企画課) 江部正二▽同(土地改良課) 花田浩一▽建設課(農政課) 山下健一▽福祉事務所(税務課) 梅田裕一郎▽同(企画課) 佐高富士男▽農業委員会(福祉事務所) 遠矢善一▽監査委員事務局長(農政課) 牛堀佐喜子▽選挙管理委員会(税務課) 別府輝雄
- 学校職員関係
- ▽臨本小学校・小田光江(阿久根小) 鶴木昭子(阿久根中)▽折多小学校・馬見新美知子(臨本小) 木下之芳(阿久根中)▽阿久根小

学校・釣井由美子(三笠中) 下園イッエ(大川中)▽大川中学校・瀧川とみ子(阿久根小)▽三笠中学校・牧尾さみ子(折多小) 窪田リエ(臨本小)▽阿久根中学校・羽田明美(三笠中) 寺地良加(西日小)

定年退職者

川畑克己(財政課参事) 大田安石 衛門(税務課参事) 松木剛(福祉事務所参事) 弓場庄藏(建設課参事) 浜田徹(保険衛生課参事) 石沢進(農業委員会参事) 石沢正助(水道課参事補) 大田ミサエ(監査事務局) 根比松喜折多小学校・森山和代(阿久根中学校) 中村学(税務課参事)

新規採用者(四月十日付)

立野寿美子(総務課) 松崎裕介(企画課) 佐瀬進(市民課) 倉津晴子(市民課) 小中茂信(税務課) 牟田昇(商工観光課) 丸田美紀(商工観光課) 新坂謙二(農政課) 牛浜隆郎(建設課) 田原勝矢(建設課) 浜崎久朗(都市計画課) 垂義継(水道課) 尻玉幸雄(教育委員会)

交通事故相談日

五月十日(金)

市民相談室

“活力のあるまちづくり”を

60年度一般会計は75億円に

一般会計予算の構成

自主財源 (33.5%)
依存財源 (66.5%)



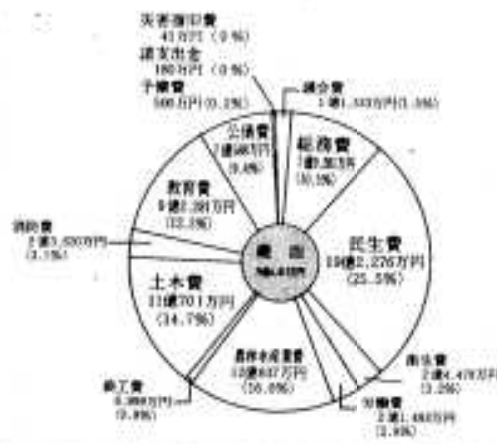
昭和六十年第一回阿久根市定例市議会は、三月六日から二十九日までの二十四日間の会期で開かれ、議案三十五件、認定一件が上程され、いずれも原案どおり可決されました。

このなかで、昭和六十年の一般会計予算には七十五億四千八百三十三万七千円が計上され、前年比当初に比べ六・三割の伸び率となりました。また、各特別会計を合わせると百十二億二百八十一万五千円となります。ここに議決された主な議案と予算について紹介します。

自主財源は二十五億円で、依存財源五十億円にたよっているのが現状です。

一般会計予算七十五億四千八百三十三万七千円のうち歳入では、市税は全体の十六割、約十二億二千四百九十万円と、前年に比べ八・六割と伸びたものの依然と低く、地方交付税(約二十四億八千六百万円)、国庫支出金(約十億九千九百万円)に頼っているのが現状で、自主財源は約二十五億二千二百万円、依存財源約五十億二千五百万円となっています。

次に歳出の主なものについてみてみます。



市内全域を水源調査

議会・総務費

- 議会費の一億二千五百二十三万円は議員二十三入分の報酬と議会活動に必要な予算を計上しました。総務費では、今年退職が予定されている五人分の退職手当九千八百円を計上しています。
- 阿久根市地区集会所の設置及び管理条例の一部改正
- 昭和五十九年度事業で建設した鶴川内地区集会所の使用料など定めたため条例の一部改正したものの。
- 阿久根市管住宅の設置及び管理条例の一部改正
- 大川仲仁田住宅の移転に伴う住

議決された

主な議案

万円。区長委託料一千二万円、将来の電算機導入に備えての事務調査等委託料七十四万円も計上しました。

なお新しく防犯灯維持の補助金としてこれまでの設置補助に加え新たに電方料金の一部も補助することにしていきます。

大九区の隔離病舎の解体工事費百四十万円、財政調整基金積立金や市有施設整備基金積立金の利子分などあわせて八千四百九十九万円を積立てます。

簡易水道のない市内の落区や松ヶ根区の水源調査や、市内全域の水源を調査するための電探調査委託料一千四百十二万円も予算化いたしました。

庁舎管理費では、庁舎を増築するための設計委託料三百九十七万円。また、統計調査費では、五年ごとに行われる国勢調査や商業統計調査などの調査経費八百二十七万円も計上しております。

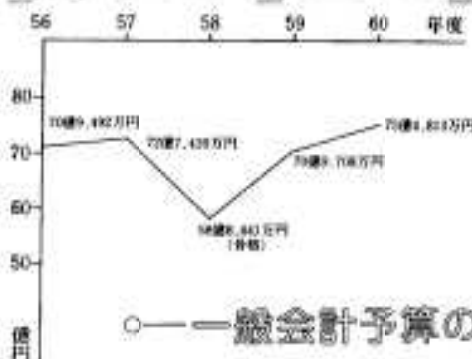
在宅のねたきりのお年寄りに

「紙おむつ」を支給します

○民生・衛生費

総予算の二五・五パーセント十九億二千二百七十六万円の予算を計上した民生費のうち、総務費では、社会福祉団体等への補助金な

ど約四百二十二万円と身体障害者自立更生のための貸付金八十万円、心身障害者福祉関係費では、県内九施設に入所している二十五人



○一般会計予算の推移○



分の精進者長護措置費四千八百七十九万円と三十二人分の身障者援護措置費八千二百一十一万円。北隣身障者スポーツ大会運営負担金や身障者協会への補助金なども引き続き計上しました。

このほか、重度身障者への福祉手当五千三百十三万円、重度心身障害者医療費一千四百万円などをふくめて、扶助費として八千二百六十六万円も予算化し、身体障害者の方々が安心して暮らせるよう施策を進めます。

お年寄りの健康づくりと生きがい対策としては、まず、福祉バスの買替えをいたします。現在使用しているバスは昭和五十年に購入したもので、すでに九年が経過し車体の傷み等もありますので今回冷暖房付きのバスに買替えることにいたしました。

老人クラブにも

引き続き補助

新しい事業として在宅のねたきりのお年寄りの看護対策の一つとして紙おむつを給付する予算百九十六万円を計上し、現在市内で約六十五人のねたきりのお年寄りに一人あたり月六十枚のおむつを支給することになっています。

扶助費では、特別・養護老人ホームに人所されている百十八人の保護措置費一億一千九百八十六万円、老人のはり、きょう施術料百七十四万円が主なものです。

老人保健医療特別会計への繰入金七千七百七十九万円のほか、老人スポーツ大会負担金、市内各区老人クラブへの育成補助金も従来どおり盛り込んであります。

所変更と、市内上原区に建設した住宅の家賃などを定めたもの。

▼阿久根市奨学条例の一部改正

奨学条例の中で、公立高等学校の奨学金「六千円」を「六千二百円」に引き上げるものです。

▼阿久根市給水条例の一部改正

健全な水道事業の運営を図るため、口径ごとの基本料金と一口あたりの料金の改正を行うものです。

▼阿久根市職員の勤務時間等に関する条例の一部改正

これまでの始業時刻「午前8時45分」を「午前8時30分」に改めるものです。

▼報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

市議会議員や教育委員会委員などの特別職の報酬をそれぞれ改正しようとするものです。

▼市長等の給与に関する条例の一部改正

市長、助役、収入役、教育長の給与をそれぞれ改正しようとするものです。

▼阿久根市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

団長、副団長、分団長の年額報酬や費用弁償を改正しようとするものです。

国民年金費では、市内の年金加入者九千二百二十九人の印紙購入費六億二千七百六十一万円が主なものです。

児童福祉関係では、児童手当や市内二私立保育園入所者約二百九十人の措置費、生活保護費では、百五十六世帯二百五十八人の生活扶助費や医療扶助費など二億六千九百八十八万円を計上しました。衛生費では、市民の健康づくり

を主に予算を計上しました。まず、日曜日や夜間の緊急医療体制の充実を図るための委託料九十六万円や運営補助金七百六十八万円。母子の栄養強化のためのミルク支給費九十万円など。

胃ガン検診やお年寄りの健康づくりも進めます

四十歳以上の胃ガン検診や三十

歳以上の婦人を対象とした子宮ガンの検診などと、一般検査委託料など二千二百一十二万円。お年寄りの健康づくりの指導経費なども盛り込みました。

衛生自治会が行うカ、ハエの一斉駆除事業への補助金二百一十二万円も引き続き計上しております。

このほか、北陸広域行政事務組合の塵芥、し尿処理事業費の負担金八千四百四十八万円が主なものです。

桑原城地区の構造改善も引き続き実施

労働・農林水産業・商工費

労働費では、失業対策事業費の経費で、九十人の失業対策就労者賃金や共済費と、事業を行うための補修材料などが主なもので、このほか、働く婦人の家の管理費なども計上してあります。

予算の十六パーセント十二億九百三十七万円の農林水産業費の主なものは、農業委員会費では、農業委員十六人の報酬などが主なもので、振興費の中にはこれまで通

り、水田利用再編対策事業などに必要な謝金、買金等の経費を計上。市の単独事業として豆類の連作障害のための土壌消毒事業、エンドウ類の早期出荷のためのハウスメン、イチゴの電しよう栽培などにも補助金を盛り込んであります。

このほか、瀬の浦上地区一・四診の小規模村づくり整備事業補助金、振興資金の貸り入れに対する利子補給補助金二百九十九万円も計上しました。

畜産費関係では、農協有等家畜導入事業補助金百九十四万円をはじめ、畜舎導入資金貸付金四千六百万円も予算化し、畜産業の振興を図ります。

農地費では、県単農道舗装工事として昨年より実施している高之口線の改良と、新しく白木川線の改良を実施いたします。県営広域農道整備事業など四つ

大川の場地区を国土調査

の事業費分一千三百三万円の負担金補助事業としては、県単で大尾線外一線分、市単独で、八郷用水路改良ほか千六地区の農道、生活道路、基盤整備費など二千八百七十四万円を計上しました。

国土調査費四千九百九十五万円は、今年実施する大川の場地区二・三平方メートルの調査費です。

構造改善事業は浦地区の農地造成、農道整備、桑原城地区については九・五を区画整理などを実施する計画で、その予算として一億五千七百九十九万円。

市農道の改良舗装として折口地区ほか八路線の工事費五千八百八十万円。農村総合整備モデル事業では、生産基盤整備として内田大

特別会計は36億円

国民健康保険

「十七億円(事業勘定)」「四千七百万円」

事業勘定の歳入歳出予算は十七億八千三十三万円。歳入は保険税六億八千八百五十五万円など。歳出は保険給付費十一億二千五百二十五万円が主なものです。直営診療施設勘定の歳入歳出予算は四千七百六十一万円です。

簡易水道

「三千四百万円」

歳入歳出の予算総額は、それぞれ三千四百九十九万円で、歳入は使用料三千二百八十万円、歳出は公債費が主なものです。

交通災害共済

「七百九十九万円」

歳入歳出予算は七百九十九万円。歳入は共済会費六百五十七万円が主で、歳出は見舞金五百九十九万円など。

食肉センター

「一億二千六百万円」

歳入歳出予算は一億二千六百四十七万円。歳入は使用料がほとんどで、歳出は電気、水道などの施設管理費五千五百六十二万円と公債費が主なものです。

冷蔵庫

「一千八百万円」

歳入歳出予算は一千八百四十四万円。歳入は使用料がほとんどで、歳出は電気料などの管理費と広場整備工事費など。



下地区ほか一地区の農道と排水路の改良、環境整備等については下村地区ほか四地区の集落道、排水路の改良舗装を実施する予算七千九十二万円を計上しました。

林業関係では、鶴川内地区集会所施設や山村開発センターの維持管理費のほか、県単治山事業の弓木野地区分の工事費など、今年で事業が終了の作業道山下城山線の補助金なども計上しました。

イカシバ・廃貨車魚礁も投入

阿久根大島の整備も実施します

水産業関係費では、今年から五年計画で事業がスタートする栽培漁業センターの建設費九千万円を予算化。またイカシバ、廃貨車魚礁の投入も行い魚場づくりも進めます。

漁港の建設は、駿本漁港の護岸、しゅんせつ、牛之浜漁港の航路しゅんせつ、佐瀬漁港は物揚場を建設するほか、阿久根漁港も負担金八千五百万円を予算化し、事業費約六億五千万円で引き続き作業が行われます。

商工費では、商工業の設備資金の貸り入れに対する保証料補助金七十五万円と小口融資保証料百八十七万円を補助するほか、これまで通り夏まつり等への補助金も計上しました。



のびる広域農免道路（山下区）

阿久根大島の整備も昨年に引き続き管理棟や案内標識、外灯などを設置します。また、牛之浜の額山陽公園には便所と水飲場を設置するほか、パンフレットの印刷、宣伝事業も行い観光PRに努めます。

八郷港を改修

土木・消防費

土木費十一億七千万円の主なものは、道路維持費として尻無本線ほか二線分のオーバーレイ、維持補修として南畑線や、桐野平畑線ほか三線分を計上しました。

道路の新設改良費として四億四千二百二十万円を予算化、過疎対策

事業として妻井田線ほか五線分、臨時地方道整備事業で深迫線ほか三線、市単独で黒木場線、ほか七線それぞれ新設改良します。

里道整備では、段、八郷地区など四地区の整備補助金六百二十万円を計上しました。また、市内尾原区の尾原橋を架けかえる予定であります。

市内の交通危険カ所にガードレール二百九十基、ロードミラー二十基分の設置費のほか、倉津地区の急傾斜地の工事も引き続き実施します。

港湾関係では、高之口港の物揚場、航路のしゅんせつ、小港港の物揚場、本年から新しくスタートする八郷港については取り付け道路を建設する予定にしています。

国民宿舎

「二億二千八百万円

歳入歳出予算は二億二千八百二十一万円で、二億二千六百万円が営業収入。歳出は食料などの材料費と電気、水道料などの管理費を含めて一億四千二百二十一万円と二千三百十萬円の公債費でした。

老人保健医療

「十四億三千百万円

歳入歳出予算は十四億三千二百二十一万円で、医療費交付金九億九千九百八十八万円、医療費負担金一億八千五百四十八万円などが歳入で、歳出は医療費、療養費などです。

水道事業会計

収益的収入は一億四千九百五十八万円、支出は二億二千四百九十六万円で、収入は水道料金一億三千七百六十七万円など。支出は水源池の電気料、減価償却費などです。

資本的収入は四千六十万円。支

出は九千二百二十万円で、収入は上水道を整備するための企業債四千万円。支出は建設改良費の七千七百六十二万円が主で、国道三号（駅前から高松橋まで）の配水管布設工事費などと企業債償還金でした。

消防ミニニュース

（一）は一月から三月まで

三月の火災発生数 3 (6)

救急車出動回数 73 (169)



日本損害保険協会から贈られた救急車

駅裏の排水路を改良 全消防分団員に夏服を支給

このほか、高松公園に便所、中央公園東側入口の舗装工事経費も盛り込みました。
都市下水路事業では駅裏の排水路二百メートルの改良と丸尾地区排水

百メートルを新設する予定にしています。将来の公共下水道のための基本調査委託料として二百三十万円を予算化し、下水道事業に必要な人口の調査を実施します。なお住

大川分団の消防自動車と折口分団の小型動力ポンプ購入費や全分団員への夏服の購入費も予算化しました。このほか、四十丁防火水槽の工事費七百五十万円などが主

名印刷製本費約二百万円をとり、郷土資料館では展示物の有効な展示を行うための設計施工委託料一千万円が主なものです。また、青年の家の駐車場六百二十平方メートルの舗装も行います。

総合運動公園に

ソフトボール場・弓道場・

チビッコ広場を設置

保健体育費では、各種スポーツ大会の賞品代や審判謝金、スポーツ教育謝金四百六十三万円と、各スポーツ大会への負担金補助金四百七十九万円が主なもので、このほか、体育施設費一億一千八百四十五万円は体育館、グラウンドの光熱水費などの維持管理費。

今年度から、費上いたします総合運動公園の整備は、ソフトボール場、弓道場、チビッコ広場を建設することになっています。

計級学人婦中央の展示館資料郷土 委託料・中央婦人学級展示館資料郷土 委託料も開設します

教育費

教育費関係では、教育委員四分の報酬や「外人と英語に親しむ集い」の講師謝金などの報償金、文集「あぐね」発行の補助金等。奨学金貸付基金へは昨年より百万円上積みし三百二十九万の予算で、大学、高専、高校へ進学する子ども達の奨学の資金を援助します。

小学校の管理費一億九千七百五万円は、市内十校の光熱水費や校舎修繕料、消耗品などの維持費と、要保護、障害児九十五人の給食費、医療費扶助費が主で、学校建設費では山下小学校の危険校舎改築事業費約一億二千九十九万円などです。

中学校管理費一億八百四十四万円は六校分の維持管理費で、建設費では大川中の危険校舎改築事業費約九千五百五十万が主なものです。社会教育費の主なものは、高齢者教室、社会教育関係学校、などの講師謝金と、本年から新しく開設する中央婦人学級、中央家庭教育学級の謝金、成人式の記念品等報償費二百七十九万円。民主団体育成補助金やPTA、青年団など社会教育団体への補助金、負担金も計上しました。



山下小の危険校舎も改修へ

起債の償還金など

災害復旧・公債費

災害復旧費は事務経費を計上。公債費の七億五百八十八万円は昭和五十九年度までに借り入れた起債の元金と利子の償還金です。また、諸支支出金の百八十万円は災害援護資金貸付金です。

消費者の 質問箱

10

相談内容

五割引きになっていたジャケットを店員と店長に確認して買うことにした。そで丈の補正を頼んで商品代と補正代を支払い、買上票を受け取って帰った。翌日販売店から「あの商品は半額商品ではなかったたので商品は引き渡せない。お金を返すので受け取りに来てほしい」との電話があった。五割引きの表示は、何のための表示だったのでしょか。

回答

価格は商品の取引で最も重要な取引条件の一つです。

この件では、正札の五割引きで売買は既に成立しています。したがって商品を補正のために一時販売店に預けているとはいえず、商品の所有権は、表示とおりの価格を支払った相談者にあります。当然販売店は補正をした上で購入者に商品を引き渡さなければなりません。



土のうを付け海に投入する
漁協青年部員

イカの水揚げを増やそうと、三月八日阿久根市漁協では、倉津沖など四か所にイカシバ千束を投入し、漁場づくりを行いました。

六月から七月上旬にかけて、イカの産卵期を迎えるもので、シバに産卵してもらおうと、昭和五十七年度から実施しています。

イカシバ千束投入…阿久根市漁協 倉津沖など四ヶ所

「楽しかったなァ」
200人が観了了……
光臨大學……

昭和五十九年度市の光臨大学の閉講式が、三月七日中央公民館で行われ、二百八人のお年寄りが大学を卒業しました。

光臨大学は、お年寄りの生きがいづくりをねらいに、市の教育委員会が開設しているもので、昨年五月、文芸、書道、大正琴、民謡、



修了証を受ける代表者

民謡、健康の六つのコースで始まり、これまで月一回勉強をしてきました。
閉講式では書道の上松金季さんから各クラスの代表者に修了証が贈られ、新橋助役らから「卒業おめでとう」ございます。来年も元気で学んでください」と、祝福を受けていました。

この日は漁協青年部四十五人が自分たちの船五隻を出し、この船に、4日クラブが協力して切ったポンタンや竹のシバ千束を積み込み、土のうを付け、倉津沖、大島近海、赤瀬川、牛之浜港沖に投入しました。

3月の市内交通事故

	()は前年	累計
発生件数	17 ¹ (15)	33 ²⁶
死亡者	0 ⁰ (0)	0 ⁰
傷者数	22 ² (20)	41 ¹⁷

市役所の 始業時刻が 「8時30分」 になっています

先に行われました第1回定例市議会において、市役所職員の勤務に関する条例の改正も行われ、これまでの「8時45分」の始業時刻が、15分早い「8時30分」と、県下市町村並みに改正されました。

4月20日[出]発売



郵便はがき

□□□□-□□

●郵便 青い鳥

- 重度の身体障害者(1級・2級)で、同手帳をお持ちの満6歳(昭和60年3月31日現在)以上の方に、発売日以降このはがきを、お一人につき20枚差し上げます。
- ご希望の方は、上記手帳をご持参の上、郵便局にお申し出ください。
なお、ご本人に代わって代理の方のお申出でも、また、郵便によるお申出でも結構です。
(郵便による場合は、ご本人の手帳番号、住所、住所変更の有無及びお申出の住所を、併せてお申し出ください。)
- 受付期間
昭和60年4月1日から同年3月31日まで
- お申出のための用紙は、郵便局、福祉事務所等に備えてあります。
- 詳しくは、郵便局にお尋ねください。

青い鳥郵便はがき



友だちの作品

■三笠中学校



(評)
現在、中学校習字は一週一時間です。かけがえのない貴重な一時間の習字の授業で生徒は努力しています。「一週間が待ち遠しかった」と迎えてくれるたったの一時

間であつたらと思つています。そのような授業で発見してくれた基礎力で書いてきた家での作品です。無心で一生涯懸命に書いた作品と思つています。三笠中習字担任。

サークル紹介⑱

和気あいあいの作品づくり

あみあみグループ



私達は働く婦人の家で開かれた手編み講座終了後、引き続き毎週木曜日夜七時より九時まで婦人の家で活動しているグループです。最初は棒針さえた持ったことがない人がほとんどでしたが、今では、減し目増し目、肩の引き返しなども計算してもらえば編み進められるようになりました。勤労女性ばかりなので、仕上げに2、3ヶ月かかっていましたが最近は少し早く仕上げられるようになりました。

月一回先生に指導をお願いして、あと一回は自主活動でお互いに教え合っています。お茶を飲みながら和気あいあいのムードで、時には口の方が動きすぎて手元はお留守になったりしますが、作品が出来上ったときの喜びは得がたいものがあります。現在、会員は六名ですが、もっと仲間を増やす為に新入会員募集中です。初心者大歓迎ですので、気軽に声をかけてみてください。

在宅医さん

在宅医の診察時間は午前九時から午後五時まで、急患の方以外はご連絡ください。

- 4月29日(天皇誕生日)
 - 堀切産婦人科 ②0263(高松)
 - 喜多医院 ②0038(大丸)
 - 黒木外科 ⑥0200(下村)
- 5月3日(憲法記念日)
 - 大塚眼科 ②0306(浜町)
 - 北国医院 ②0016(本町)
 - 平 医院 ⑤2626(古里)
- 5月5日(子供の日)
 - 筒井耳鼻咽喉科 ②0040(栄町)
 - 林胃腸科外科 ③639(大丸)
 - 石原医院 ⑤0045(橋之西)
- 5月6日(振替休日)
 - 阿久根内科 ②0578(琴平)
 - 内山病院 ③1551(高松)
 - 藤本病院 ⑤2121(橋之西)
- 5月12日
 - 有村内・産婦人科 ④180(琴平)
 - 喜多医院 ②0038(大丸)
 - 赤之下医院 ⑥2600(橋馬場)
- 5月19日
 - 上園医院 ③1055(本町)
 - 北国医院 ②0016(本町)
 - 黒木外科 ⑤0200(下村)
- 5月26日
 - 堀切産婦人科 ②0263(高松)
 - 林胃腸科外科 ③639(大丸)
 - 平 医院 ⑤2626(古里)

おたっしやで

木炭の原木となる檜の木に、元気で頑張っています。

市内米次区

藤瀬サトさん(65)



図書館だより

今月の新着図書



- ▽歌舞伎役者(川口松太郎著)
- ▽遊藝地の猫(宮本輝著)▽夢原(島原敏雄著)▽サメてこれだけ(青木雨彦著)▽日本剣客列伝(津本陽著)▽夕顔恋歌(澤田ふじ子著)▽夕萩心中(連城三紀彦著)▽ストロング・メディスン(アーサー・ヘイリー著)▽サイレント・マイノリティ(堀野七生著)▽小学・中学・高校生(早乙女勝元著)▽「ニューヨーク」
- ▽物語(フレンド・ギル著)▽だれかの関係(井上光晴著)▽演歌の虫(山口洋子著)▽三人で本を読む(丸谷才一・山崎正和・木村尚三郎著)▽雪燃燃ゆ 無題篇(柳田邦男著)▽神の名の下に(デービッド・ヤロップ著)▽ジョゼと虎と魚たち(田辺聖子著)▽二代目クリスチャン(つかこうへい著)▽マドリッド春の雨(佐藤愛子著)▽週末の恋(落合恵子著)

あくねのみんな(39)

佐潟の洞窟



佐潟鼻の大島側、海面から少し上にはっきりと口を開いた洞窟があります。入口は大人が通ってやっと入れる位ですが、中は広い所もあ



って奥行きが深く、いくつもの穴が延びています。長い年月の間に、海流の浸蝕作用で出来たものでしょう。

この洞窟については、今も謎に包まれたままですが、いくつものいい伝えがあります。ある人は「あそこはな、密貿易の隠し場所だった。闇の夜に人影を見たことがあった。と昔の人はよく言っていたものだ」と。また、ある人は「海賊船が桑島とここを行き来していたと言うから海賊の宝物の隠し場所だった」と。また、ある人は「奥深く入ったところから、いくつもの穴があって分れているものと思われま。不思議なまままで置きたいものですな。」

また、ある人は「大島に通じている」ともいいます。どの話も本当のことは判らないのですが、奥深く入ったところから、いくつもの穴があって分れているものと思われま。不思議なまままで置きたいものですな。」

全体とかが出口になっているのでしょうか。ある人は「穴の中に猫を入れたら幾日かして頼島に出て来た」と。また、ある人は「穴の中に入れたら川内川口の京泊に出て来た」と。

また、ある人は「大島に通じている」ともいいます。どの話も本当のことは判らないのですが、奥深く入ったところから、いくつもの穴があって分れているものと思われま。不思議なまままで置きたいものですな。」

市内大丸区 草原 新さん提供

阿久根歌壇

折田 恵 司 選

秀逸 わが庭を彩(あや)にふちどる葉牡丹の豊たたしめて如月はゆく 赤瀬川 遠矢 律

評 「菊を東蔵の下に採って悠然として南山を見る」と詠んだ陶淵明に彷彿たり。自然流露即ち感情を在りのまま言葉に移す過程として詠嘆を生かし、必要を教養と豊かな語彙が結実した。

佳作 風寒き堤に今し舳舳船ゆ森進一の演歌ひびかふ 藤本 赤崎 タエ

評 短歌は単純化のゆえに細部が目立たず芸術の本領に迫る時がある。

ころより夫を慕ひて二十余年身近くに置く絶せし外賓 藤本 宮原 範子

一面に石尊(あをさ)のつきし石に群れ小魚光る橋より見れば 高松 勝目 悦子

打ちおろす舌が歌の音いさぎよし月さしそめし馬鈴薯畑に 赤瀬川 聖瀬 紀夫

病む老は無為にすぎに夕暮の別々に竹ち思ふ遠き子 桐野 竹原キミエ

病院の朝顔に茶柱たちたれば飲み干さずしばし吾は見てあつ 大丸 橋崎 幸

「イワシを食べてください」

「天文鷗キャンペーン」 2万匹市民に無料配布



「もう過酸化水素は使用しておりません。安心して食べてください」——阿久根市塩干加工業協同組合(尻無瀬組会長)は、三月九日鹿児島市の天文館アーケード街で、九千しイワシの無料配布を行い、道行く人にプレゼントしました。

六匹入り四千袋、二万匹を準備。配布時間の午前十一時には、市民二百人が例をつくって配布を待ちました。組合長がおわびのあいさつをしたあとさっそく配布に、ハツビ姿の組合員が「うまいですよ、どうぞ」とプレゼント、用意したイワシは十二時すぎにはなくなり、大盛況でした。

「うまいですよ、どうぞ」とイワシを配る組合員



がんばっています

市内倉津区

倉津 理々子さん(20)
(大和阿久根店勤務)



18人が修了

市水産教室

漁業従事者は一人

市の水産教室の閉講式が三月一日、阿久根市漁協の会議室で行われ、十八人が修了しました。

今年市内の阿久根、三笠、鶴川内の中学校から二十四人が入講し、昨年七月二十五日開講式を行い、八月の県の水産試験場視察、十月、二月の研修と漁業について勉強してきました。

今年の修了者は十八人で、ほとんどが高校などへの進学で、すぐに漁業へ従事するのは一人だけ。

修了証をもらう受講生



修了式では一人ひとりに修了証と記念品が贈られ、川畑市長が、「水産教室で学んだことをこれからの人生で生かしてください」と激励しました。

むかしの

子どもの遊び

22

竹てっば



キンチャク竹のできるだけ節の長いものを選び一節を筒と柄、あと一節の五割位を柄にします。

筒の節の柄に竹の押し棒を差し込んで固定します。

筒に詰める玉は杉の実や新聞紙を水にぬらして、手ごろにまるめます。水がないと紙を口の中に入れてつばでぬらして作ります。

ハイ元気だよ



赤木雄太ちゃん(1歳2ヶ月)

市内大丸町
赤木悟さんの長男

阿久根市内の六つの中学校で三月十九日、田代小学校を除く九つの小学校で、三月二十三日卒業式が行われ、小中合わせて九百五人

が学校を巣立っていきました。このなかで、鶴川内中学校(写真)でも男性十五人、女性十六人が卒業を迎え、体育館で保護者や

「みんな頑張ったね」
小・中学校で卒業式



関係の方々が出席して卒業式が行われ、生徒たちは九年間の思いを胸に学校を後にしました。

笠山を桜の名所に
林道に四百本植える

笠山を桜の名所にしようとして、古里老人クラブと子ども教育会



桜を植えるお年寄りたち

では、三月十日市内笠山の作業道阿房川線ほか一線に桜を植えました。桜は阿久根ロータリークラブとライオンズクラブがそれぞれ二百本づつ、四百本を寄贈。この日は老人クラブのお年寄りや子ども、父母ら五十人が参加、林道の片側に五ヶ所間隔で植え込んでいきました。

おかあさん

おりがとう

市内大川島

岩崎恵美子(12)

私の母は、グローブを作る会社の内職をしています。夜おそ



岩崎清子さん(39)

くまで働き、朝も早く起きて仕事をしています。母の声は、大きくとくに私や妹をおこる時の声は、もう母の前ですわっていられないほどの大きな声で私たちは、小さくなってしまいます。それほど嬉しい母ですが、ボールあそびなどをいっしょにしてくれる、やさしい面のある良い母です。あまやかしたりする母より私の母のように少しきびしい母が大好きです。

中野さんが優勝

…老人囲碁大会…



第六回阿久根市老人囲碁大会は三月二十日、市の老人福祉センターに二十一人のお年寄りが参加して行われ、リングトーナメント方式で終日熱戦が繰りひろげられました。

成績は次のとおりです。

優勝 中野文治 一位 出口矢治郎 二位 大田重雄 田淵初喜

あけぼのA優勝

第一回市長旗争奪ゲートボール大会は、三月二十八日市の総合グラウンドに市内老人クラブを中心に三十六人が参加して行われ、臨本のあけぼのAが優勝しました。

大会はリングトーナメント方式でスタート、各チームともチームワークをもって熱戦をくりひろげました。決勝ではあけぼのAと古里Aが対戦、25対22であけぼのAが勝ちました。一位古里A、二位波留Bと瀬之浦下でした。

お知らせ

行事催し物など
とどしお寄せください
③1211内線214

商業統計にご協力を

五月一日実施

本年五月一日には、商業統計調査が実施されます。この調査は三年ごとに行われる統計法に基づく指定統計調査で、全国の卸売業・小売業を営んでいるすべての商店を漏れなく調査する、いわば「商業の国勢調査」ともいわれるもの

学級生(社会教育関係)を募集します

申し込みは社会教育課へ

市の教育委員会社会教育課では、昭和六十年年度社会教育学級、大学などの受講生を募集しています。講座は、成人大学、光臨大学、中央婦人学級、中央家庭教育学級、成人教室、家庭教育学級で、それぞれ講座に応じて申し込みを受け付けています。

詳しいことについては社会教育課09967②1051へ問い合わせてください。



昭和六十年四月十日 鹿児島県阿久根市鶴見町二〇〇番地阿久根市役所編集発行

で今年第十六(回目)に当たります。この調査の目的は、商店の取扱品目や販売額等について調査し我が国の商業活動の実態や商店の分布状況、商品の流れなどを全国並びに地域別に明らかにするものです。調査は、都道府県知事から任命された商業統計調査員が商店を直

気象情報に「転送電話装置」

阿久根測候所

阿久根測候所は、昭和五十六年四月から夜間(十九時から翌朝八時まで)の業務を閉鎖し、その間の一般の方や、各機関からの天気予報や気象情報の問い合わせは、これまで電電公社の「一〇六番」申し込み(コレクトコール電話)

を利用していたりなど、ご不便をおかけしていましたが、これらの不便を解消するため今回「転送電話装置」を設置しました。

この装置は、夜間、一般の方から測候所に天気予報などの問い合わせの電話がかかると、自動的に鹿児島地方気象台の現業室に転送されて、天気予報や気象情報を直接、鹿児島地方気象台から聞くことができるようになっております。

夜間、天気予報やその他の気象情報をお聞きになりたい時は、昼間と同様の電話番号(09967③0896)をご利用ください。

類似の「屋内配線下請業者」に注意を

請業者」に注意を

最近、県内各地において「九州電力の下請業者」と称し「九州電力がお宅の屋内配線を強制的に改修することとなった」と話し、多額の代金を請求し、受け取った事実が発生しております。当社には、屋内配線の下請業者の制度はありません。また、お客様の屋内配線を強制的に改修することもありません。

類似の業者が訪問しましたら十分注意されるよう、お願いします。

県政情報センター

オープン

☆場所 県庁正面玄関県民室隣
☆利用時間 平日：八時半～十七時・土曜日：八時半～十二時
☆問い合わせ先
県庁学事文書課(〒892 鹿児島市山下町一四一五〇) ☎0992②68111 内線2047

ワンちゃんの引き取り

四月二十三日
五月七日・十六日
保健センター

社協だより

次のかたがたから、香典返しとして、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます。(敬称略)

- 島崎フヨ(鈴木段) 牛之浜正一(牛之浜) 中野卓雄(幸田) 別府国守(永田上) 西園宗一(高之口) 水田時生(尻無下) 尻無浜末弘(尻無中) 早水二三(黒之浜) 登尾礼子(鹿児島市) 中島登(波留) 山口和男(梅) 濱田栄(上野) 角サキ(大田)

給油所の日曜当番店

- 4月21日 寺下石油 (脇本) ☎2077
- 5月12日 阿久根石油 (脇本) ☎0038
- 5月19日 落合石油 (脇本) ☎0055

訂正します

先月号、六の市職員給与等のコーナー中、八項目(特別職の報酬等の状況)の議員の給料月額が「十九万五千円」となっていました。訂正は「十九万円」でした。訂正します。